

卓越した技術者（現代の名工）（2024 年度）

第1部門（金属材料製造の職業）

井上 太（株神戸製鋼所 加古川製鉄所）

入社以来、製鉄原料の操業・管理に従事し、技能・技術の研鑽に努めたスペシャリストである。その卓越した技能を活かし、安全においてはベルトコンベア巻き込まれ防止対策工事を指揮、環境においてはヤード発塵防止のため散水設備やシステムの改良、安定稼働においては大塊輸送の装置の開発やヤード管理にドローンを導入する等、各方面の発展に大きく寄与している。また、後進の育成にも情熱を持って取り組み、多くの技能士を輩出する等、技能継承と組織力向上に貢献している。

平塚 俊也 J F E スチール(株) 東日本製鉄所 千葉地区

製鉄工場において操業オペレーターとして初めて、炉前・運転・点検という製鉄工場の操業における全く異なる三領域の技能を全て習得し、高炉設備に関する二件の特許発明・二回の高炉改修への貢献等、豊富な経験と群を抜く知識、技能を有する。機械故障や判断ミス等で高炉操業が停止すると製鉄所全体の生産も停滞するが、卓越した技能により低コスト・高効率な安定操業に貢献し続け、製鉄業界における第一人者であるとともに、現業系社員の統括職として数多くの多能工技能者を輩出している。

前田 和彦 J F E スチール(株) 西日本製鉄所 倉敷地区

鉄鋼生産の出発点で最重要工程である製鉄工程の操業技能に優れており、多くの経験を通して培われた技能と広範な知識、それらに裏打ちされた幾多の改善によって、世界に誇る高品質な製品の製造に不可欠な溶鉱炉の安定操業に大きく寄与してきた。また、人材育成においても第一人者であり、五〇〇項目以上に渡る作業手順書の整備やビジュアル化したポイント集の作成を通して「技能の見える化」を図るとともに、個々人の技能を評価、改善していく仕組みを確立し、後進の技能向上に貢献している。

第3部門（金属溶接・溶断・めっき工、その他の金属加工等の職業）

後藤 秀樹（株神戸製鋼所 高砂製作所）

鉄・ステンレス・アルミ・銅・チタン等様々な溶接材料及び被覆アーク・半自動・ティグ・ミグ・サブマージといった多岐の溶接プロセスにて、米国国家規格や国内法規に準拠した施工をする等、高い溶接技能を有する。国内外現地出張工事では責任者として安全管理・手順考案や、客先への柔軟な対応で高品質な製品を供給、石油化学・天然ガス・原子力の各産業振興に努めた。各種競技会で優秀賞を受賞し、競技会実行委員・審査員やアーク溶接特別教育の講師を務め、人材育成に貢献している。

第4部門（一般機械器具組立・修理の職業等）

藤沢 政伸 JFEスチール(株) 西日本製鉄所 福山地区

長年にわたり、溶融亜鉛鍍金設備を中心とした表面処理設備の保全業務に従事し、安定的な設備稼働に貢献してきた。現在は、保全組織のライン長である統括職に就任している。統括職に就任以降は、特に設備管理に関わる後進技能者への指導・育成に尽力し、広い視野により担当職場を越えて活動に取り組んでいる。近年、溶融亜鉛鍍金設備は極めて高い設備安定化を呈し、これにより生産に大きく寄与している。この成果は随一であり、長年の当人の果たした役割と貢献は極めて大きいといえる。